

全校朝礼

- ・ おはようございます。1 学期もあと僅かとなり、皆さんが学校へ登校する日も今日を含めて 12 日となりました。
- ・ 梅雨の時期となり、全校朝礼が3回連続で放送となりました。次回7月9日(火)が今学期最後の全校朝礼となります。
- ・ 7月18日(木)が1学期の終業式となり、19日(金)からは夏休みとなります。その夏休み中に開催されるパリオリンピックについて、そして、その後開催されるパリパラリンピックについてのお話をします。
- ・ パリオリンピックは、夏休みに入ってすぐの7月26日(金)～8月11日(日)の17日間、フランスのパリで開催されます。
- ・ これまでの歴史を打ち破り、これまでになかった初めての取り組みを実施することで、オリンピック史上最も記憶に残る開会式を実現しようとしています。
- ・ パリオリンピックは、夏季競技大会史上初めて、新しい試みのひとつとして開会式をスタジアムの外のセーヌ川で行われることとなっています。
- ・ また、前回の東京大会では、スケートボードやスポーツクライミングのようなアーバンスポーツが採用され、今回はさらに都会的なダンススタイルのブレイキンが新種目として採用され、都市型スポーツがますます注目される革新的なスポーツ大会をめざしているようです。
- ・ 昨日、チーム JAPAN の旗手には、約 130 年前の第1回アテネ大会から採用種目とされているフェンシングの女子選手と、今回初めて新種目として採用されたブレイキンの男子選手が選ばれました。メダル最有力候補であることは確かですが、何か意味深さを感じています。
- ・ パリパラリンピック大会は、学校では2学期が始まって早々の8月28日(水)～9月8日(日)の12日間、オリンピック同様、スタジアムの外のコンコルド広場とシャンゼリゼ通りが会場となり、画期的なセレモニーになると言われています。
- ・ パラリンピックが始まったのは、64年前のローマ大会(1960 年)になりますが、当時は、それほど注目を集めることはなく、どちらかというと、当初はリハビリのためのスポーツ大会であったようです。

- ・ 現在のようにオリンピックと同じ場所で、オリンピック直後に大会が行われるようになったのは、36年前のソウル大会(1988 年)からです。
- ・ しかし、今では、もう一つの(Parallel)のオリンピック(Olympic)と言われるのにふさわしい技術力や精神力の高さに驚くばかりです。
- ・ 一例をあげると、前回の東京パラリンピックの走り幅跳びで金メダルを獲得したドイツの男子選手は、8m18 で 3 連覇を果たし、金メダルの目標は達成したものの、東京オリンピックの優勝記録の 8m41 を超えられなことをたいへん悔しく思ったという報道がありました(ちなみにパラ世界記録は、8m62 で教室の前の黒板から後ろの壁をはるかに超える距離です)。
- ・ また、卓球ではオリンピックとパラリンピックの両方に出場したポーランドの女子選手がいましたが、この選手はパラリンピックの個人戦では 2 回戦で敗戦しているという高いレベルでの大会となっています。
- ・ パラスポーツでは、「自分自身に残された部分を最大限に生かす」という言葉をよく聞きましたが、何か一つ補助する器具を付けたり、ルールを少し変更したり、人の補助を借りたりすることで可能性は最大限に延びるということを実感した大会でありました。
- ・ 競技をする上で工夫をすることで、健常者(オリンピック選手)と同じようにスポーツを楽しめ、それ以上のパフォーマンスができることは素晴らしいことだと思います。
- ・ 日本では、障がいのある人が暮らしやすい状況にまだまだなっていないと言われています。皆さんには、「障がいのあるなしに関わらず、皆が生活しやすい社会をつくっていく」ということを考える良いきっかけになればと感じています。
- ・ 日本とパリの時差は、7時間あるようなので、オリンピックの時には起こりがちですが、寝不足など体調管理には十分に気をつけてください。